



SPECIAL STEEL

すてい~る

December/2004

目次

● 特集 青年部会「第4回定時総会」

● 青年部会「第4回定時総会」を開催	1
● 中国特殊鋼流通事情視察研修報告	5
● 平成15年度「特殊鋼販売技士2級・3級」合格者名簿	7
● 新支部長訪問 田島徹也 名古屋支部長 小林春信 東北支部長	9 10
● 突然おじゃま 鴨山明正 東海鋼鉄(株)代表取締役	11
● 私の愉しみ 岡安一男 岡安鋼材(株)代表取締役社長	12
● 理事会・委員会報告	13
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)
 TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395
 ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>
 E-mail zentoku3@ba2.so-net.ne.jp

青年部会 「第4回定時総会」を開催



新部会長に堀田靖氏を選出

部会員資格、運営委員定員の見直しで活発な部会運営を目指す

全特協・青年部会では9月3日(金)、日航ホテル大阪4階藤の間にて第4回定時総会を開催しました。総会では、特殊鋼文化の普及啓発事業や共同化メリットに関する事業の実施などが盛り込まれた平成16年度事業計画(案)を承認。また、より広く人材の参加を呼びかけ活発な部会運営を行っていくために、部会員資格の年齢条件を49歳以下と引き上げ、運営委員定員を30人以内に拡充するとの青年部会規程の一部変更も承認されました。4期目を迎えることになった青年部会では運営委員選出および顧問の委嘱が行なわれ、第2代の新部会長として堀田靖氏(堀田ハガネ代表取締役)を選出。副部会長には碓井達郎氏(碓井鋼材・社長)、濱田訓通氏(浜田ハガネ店・社長)、古池晃氏(古池鋼業・専務)、松岳大樹氏(トーキン・専務)、宮内保氏(小山鋼材・社長)が再任、櫻井透氏(櫻井鋼鐵・専務)、山村弥氏(山鋼精機・専務)が新任されました。なお、部会長を退任された木村雅昭氏は、新部会長の委嘱により新設された顧問に就任。今後も、委員会等に出席して青年部会の運営にあたっていくことが確認されました。

■青年部会 運営委員、特別顧問および顧問名簿

役職	氏名	勤務先・役職名
	浅野 薫仁	浅野鋼材(株) (取)営業部長
	井川 竜吉	(有)井川ハガネ 代表取締役
	井上 寿一	井上特殊鋼(株) 代表取締役
副部会長	碓井 達郎	碓井鋼材(株) 代表取締役
	川北 誠	川北特殊鋼(株) 代表取締役
	木村 雅昭	深江特殊鋼(株) 常務取締役
	五味 測 努	五味測鋼鉄(株) 代表取締役
	近藤 泰幸	(資)近藤ハガネ商店 代表
副部会長	櫻井 透	櫻井鋼鐵(株) 専務取締役
	佐橋健一郎	サハシ特殊鋼(株) 代表取締役
	澤津橋聖司	(株)司鋼商会 専務取締役
	鈴木 裕人	東和ハガネ(株) 専務取締役
(新任)	田嶋 直	(株)鐵鋼社 取締役
	出口 弘親	スチールテックテグチ(株) 専務取締役
	八木 栄治	(株)白鋼 営業次長
	中島 伸夫	中島特殊鋼(株) 専務取締役
副部会長	濱田 訓通	(有)浜田ハガネ店 代表取締役
(新任)	樋口 威彦	(株)天彦産業 開発革新チームリーダー
	樋田 浩三	(株)三悦 代表取締役
	福岡 敬司	(株)福岡ハガネ商店 代表取締役
(新任)	藤田 剛義	藤田商事(株) 機械営業部次長
副部会長	古池 晃	古池鋼業(株) 専務取締役
部会長	堀田 靖	(株)堀田ハガネ 代表取締役

役職	氏名	勤務先・役職名
副部会長	松岳 大樹	(株)トーキン 専務取締役
副部会長	宮内 保	小山鋼材(株) 代表取締役
	保田 嘉嗣	保田特殊鋼(株) 取締役副社長
	山田 雅郎	(株)ヤマコー 専務取締役
副部会長	山村 弥	山鋼精機(株) 専務取締役
特別顧問	三上 聡彦	(社)全日本特殊鋼流通協会 会長
〃	久木田一成	〃 副会長
〃	熊谷多津旺	〃 副会長
〃	仕幸 英夫	〃 専務理事
顧問	木村 雅昭	深江特殊鋼(株) 常務取締役



新旧部会長あいさつ



青年部会・前部会長
木村 雅昭

■パートナーシップを図りながら 新しいビジネスモデルを目指す

昨今の素材インフレの下、鉄鋼および特殊鋼流通の業界は好景気・好決算に沸いております。全特協のアンケート結果でも、各企業とも値戻し等に苦慮しながらも徐々に赤字が減り、少しは笑みがこぼれるようになっている状況は喜ばしい限りです。もっとも、この状況がいつまでも続くとは考えにくいですから、余裕のある時期に私たち企業も業界もいろいろと次に打つ手を考えなければいけません。

こうしたなかでのテーマのひとつに「事業継承」というものがあり、次代を担う存在としての青年部会の役割があります。高度成長時代を経て飛躍してきたという古い歴史をもつ特殊鋼というビジネスを、新しいスタイルをもったビジネスとしてどう構築していくかを考えなければいけません。そうしたなかで取るべきスタイルの一つとして、企業間のネットワーク化ということがあります。現在、大手企業でも企業間競争から合併・提携を含めた企業の再構築が進んでいますが、私たち中小企業でもパートナーシップを図りながらお客さまにとって必要とされる企業体へ生まれ変わることが重要なのではないのでしょうか。そうして、それを実現できる場が青年部会ではないかと考えます。「入って良かった全特協」から「参加したくなる」さらには「参加したら儲かる全特協」ということを究極のメリットとして、“同業種のなかの異業種交流”を繰り返しながらそれぞれの強みや弱みをお互いに補完しあい、顧客にも地域社会にも必要とされる会社を目指す。そして、それを議論しながら考えていく青年部会として、力を合わせて邁進しようではありませんか。



青年部会・新部会長
堀田 靖

■部会活動を骨太に活発化させ 全特協の繁栄にも貢献する

このたび、青年部会の部会長を引き受けることになりまして、大変な光栄であると同時に身の引き締まる思いでいっぱいです。青年部会がさらに発展するよう、できる限りの努力をいたしますのでよろしくお願ひします。青年部会の会員の皆さまは同様な思いを共有されていることと思いますが、同世代の方々が集まるこの会で自然な雰囲気の中で新しい取引が始まったり困難を助け合ったり、また情報の交換や共有ができるようになってメリットが形作られ、今後さらに向上できそうだ、という手応えのある会になってきた中で仕事ができることは私の喜びです。

今後の青年部会については、これまで木村前部会長のもと情報交換を通じた共同化メリットの模索や懇親の場として部会員相互に有益な活動の場を提供してきました。今後も、これまでのプロジェクトの継承と発展を基本に、部会の活動をさらに骨太なものとして活発化させ、さらに本会である全特協の繁栄にも大いに貢献できるよう目指していきたく考えております。そのためには、本会である全特協の全面的なバックアップの継続と青年部会の皆さまの協力と熱意、温かく見守ってくださる気持ちなくしてはなりませんので、どうかよろしくお願ひします。



青年部会 「大阪企業家ミュージアム」を見学



企業家たちの情熱と英知を体感明日への勇気と想像力を培う

全特協・青年部会では9月3日（金）の第4回定時総会に先立ち、大阪府中央区の大阪企業家ミュージアムでの見学会を行いました。大阪企業家ミュージアムは、古くは天下の台所としてわが国の経済を牽引し、近代以降はチャレンジ精神にあふれた個性豊かな企業家たちを生み出してきた街・大阪の企業家たちを記念し、今後も、先人たちの活躍から学び、高い志をもって可能性に挑む、新しい企業家を育むために開設されている産業展示館です。明治維新後の近代産業の草創から大正・昭和前期の大衆社会での経済発展、そして戦後の豊かな現代社会の形成に貢献した企業活動を、企業家と代表的な製品にスポットを当てて展示されています。



■「大阪企業家ミュージアムを見学して」 ～堀田部会長談話～

関西はすぐれた企業家を多く輩出しており、彼らが開発した新商品は社会発展、生活向上に大きな役割を果たしています。明治23年・キンチョーの「蚊取り線香」をはじめ、大正14年・シャープによる「ラジオ受信機」、昭和2年・江崎グリコの「おまけ付き菓子」、昭和33年・日清食品の「インスタントラーメン」などさまざまです。こんな、果敢なチャレンジ精神とたゆまぬイノベーションで画期的な仕事を成し遂げてきた大阪の企業家たちを、一堂に記念展示したミュージアムを見学して感じたことは、「志・変化・先見」の先にある「挑戦・創意・自助・意志」という強力な行動力が彼らの成功を支えてきたということです。偉大な先人たちと、そのパワーを生み出した大阪の街に学び、明日への工夫に役立てねばと感じます。

青年部会主催講演会 「松下幸之助に学ぶ」



佐藤 梯二郎氏

PHP 研究所 /
第一研究本部・
松下理念研究部長・
研究事業部部长

松下幸之助研究を専門分野とする。他、PHP 理念研究。松下幸之助をさまざまな角度から研究し、関連書籍の編集制作に携わる。また、企業家・実業家の経営理念、日本経営理念史の研究も。主な著書に『名経営者に学ぶ「商道」実践コース（通信ゼミナール）』（PHP 研究所 98年）、『松下幸之助・成功への軌跡—その経営哲学の源流と形成過程を辿る』（PHP 研究所 97年）

全特協・青年部会では9月3日（金）の第4回定時総会に先立ち、日航ホテル大阪4階藤の間にて講演会「松下幸之助に学ぶ」を開催しました。講師は、松下幸之助研究の第一人者であるPHP 研究所の佐藤梯二郎氏で、松下幸之助の経営哲学を中心に人間観や人生観、さらには幸之助翁の晩年の貴重な逸話まで披露され、わが国を代表する名経営者の魅力をあますところなく紹介されました。

■青年部会協賛事業 「第3回金属彫刻作家新鋭展」

全特協・青年部会では特殊鋼文化の普及と啓発を目的として、金属彫刻の新人作家を支援・育成するために平成14年よりメタルアートミュージアム光の谷（千葉県印旛郡）で開催されている「金属彫刻作家新鋭展」に協賛しています。今年も、村尾里奈氏（東京芸術大学）と松永晴子氏（筑波大学）の両作家による、「開かれた音域」と題した第3回金属彫刻作家新鋭展に協賛。7月3日（土）のオープニングパーティーには、事務局より渡辺業務部長が出席し「金属の可能性をよりよく社会に広めるために、斬新で魅力的な創作に励んでいただきたい」とあいさつ。また、東京芸術大学の北郷悟助教授と筑波大学の中村義孝教授はともに「若い作家の創作の実践とメタルアートの可能性の追求のためにも、全特協の協賛は大きな力になっている。全特協に感謝とともに今後のご支援をお願いしたい」とあいさつされました。第3回金属彫刻作家新鋭展—開かれた音域—は、「空間と人間の身体の関係を考えながら、形を持ち存在する彫刻が、いかに身体に響きあうか」をテーマに、村尾、松永両氏がそれぞれのアプローチで計15点の作品を8月1日（日）まで展示しました。



松永晴子氏



村尾里奈氏



中国特殊鋼流通事情 視察研修報告

2008年北京オリンピックと、2010年の万博に国の威信をかけて取り組んでいる中国を直接肌で感じる事が出来ました。さすがに徹底したインフラ整備と、そのスケールの大きさに驚きました。

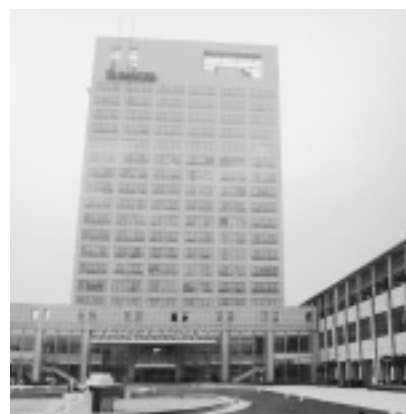
GDP成長率が9%という高いレベルにあり、街を歩く人々の顔が輝いて見えました。

平成16年10月13日（水）上海空港に集合した成田・関西空港・名古屋からの参加者総勢45名は、大型観光バス2台に分乗して、上海宝山鋼鉄、三井物産（上海）支店を訪問し、2日目にはウメトク（上海）、Shanghai-Eaton社を見学し、3日目早朝に1,000km離れた天津まで上海航空機で移動し、天津五鉍鋼鉄新興市場、三五（天津）、TEDA工業団地を見学し、その後170km離れた北京までバスでの移動でしたが、途中、どこまで行っても真っ直ぐな片側4車線のハイウエーを走りました。最終日は、休日として万里の長城、北京市内観光、ゴルフと3つのコースに分かれて疲れを癒し、翌日、4泊5日の全日程を無事に終了し全員元気に帰国致しました。

上海の訪問先とのアポイント取り付けをお願いした三井物産（株）鉄鋼製品本部関西鉄鋼部線材特殊鋼室・隅田マネージャー様及び上海支店の皆様方、天津の訪問先とのアポイント取り付けをお願いした豊田通商（株）東京金属部・南部主査様及び天津支店の皆様方に厚く御礼申し上げます。

①宝山鋼鉄股份有限公司

迎賓館で陳総経理助理に出迎えを受け、宝山鋼鉄の現況の説明の後、ビデオで工場全体の説明を聞き、圧延工程と原料ヤードを見学した。炉で真っ赤に熱せられたスラブが熱延コイルに巻き取られるまでの約400mのラインを見た後、工場敷地から揚子江に300m突き出た原料荷上げ用栈橋を見学した。栈橋に出る途中でビルの4階の高さに積み上げられた鉄鉍石の山が数キロ先まで伸びている光景に圧倒されました。



②三井物産（上海）貿易有限公司

瀬戸山董事・総経理から中国経済の現況と鉄鋼事情についてレクチャーを受けました。



③梅田特殊鋼模具（上海）有限公司

稼動してから約1年の工場でしたが、現地職員の我々訪問者に対して礼儀正しく挨拶をされ、社員教育は日本式で徹底されていることに興味しました。中国には熱処理メーカーが数百社あるとのことでしたが、日本の感覚で安心して仕事を任せられるところは4～5社しかないとのことでした。



④ Shanghai Eaton Component Company, Ltd.

工場長のMr.T.Stlzeから会社概要と工場の現況説明があり、その後、エンジンバルブ製造工程を見学した。中国製の材料は1998年から品質レベルは向上した由で、大連鋼鉄の材料が85%入荷していたが、SUH11についてはオーストラリア、日本からの輸入であった。



⑤ 天津市五鈹鋼鉄新興市場

楊総経理、張副総経理の出迎えを受けて、事務所棟1回のロビーで話を聞くことが出来た。国内鉄鋼間屋60社が、冷房の効いた事務所棟の中に事務所を開設し、国内から買い付けに来る業者の対応をしている。注文に応じて敷地内に併設されている倉庫から材料を搬出するシステムで、鉄道線路も引き込んであり、大型倉庫も建設中で、見学した時には、鉄道線路のプラットフォームの周りには、厚板、熱延コイル等が雑然と地面に直接置かれており、材料管理面での遅れを感じましたが、全体の敷地の大きさと、建設中の工場建屋のスケールの大きさを見て、中国のこれからの展開が気になる場所でした。



⑥ 天津三五汽車部件有限公司

名古屋出身の崎下総経理の説明で、日本から進出している企業の、現地での活動の苦労話には、参加者一同はじめて聞く話に感動した。あらゆる場面で、日本とは違う対応の仕方となる点で、大変参考になった。その後、トヨタカローラ用のステンレスマフラーの製造工程を見学した。



⑦ TEDA工業団地

天津市から東に焼く50kmのところに位置し、天津港に隣接しており、総計画面積は33平方kmで、天津開発区の中央区は北京に通じる高速道路や、鉄道も走っている。国家レベルの開発区の1つとして、本格的な工業団地への企業誘致と共に急ピッチでの工業団地整備が進められている。

平成16年度 特殊鋼販売技士2・3級合格者名簿

■平成16年度 特殊鋼販売技士2級 合格者数

検定試験日：平成16年10月28日（火）

支部名	受験者数	合格者数
東京	51	47
大阪	23	21
名古屋	42	38
九州	12	12

100点取得者 3名

■Aグループ（構造用鋼・ばね鋼）

東京支部 山本 真久 新日本製鐵（株）

東京支部 鎌田 陽子 大同特殊鋼（株）

■Bグループ（工具鋼・軸受鋼）

名古屋支部 杉野 晃治 浅井産業（株）

片桐 則和（株）U E X
坂本 利雄
清水 良成
豊島 央志 アサヒスティール（株）
湯山 吾紀（株）スターインフォテック
李 聖泰 大同興業（株）
西岡 里師 大同特殊鋼（株）
中野 博之
関 正浩 日本高周波鋼業（株）
谷口 雄太
長野 順 ヤマト特殊鋼（株）
金子 謙二
青山 謙治 インターナショナルアロイ（株）
秋山 裕樹 中川特殊鋼（株）

合格者19名

大阪支部

■Aグループ（構造用鋼・ばね鋼）

細井 泰之 アサヒスティール（株）
河村 大介
高野 将志 井上特殊鋼（株）
田畑 勇樹
石井 敏博
山 高志 櫻井鋼鐵（株）
本間 清高
小林 桂五 阪神特殊鋼（株）
岡田 直樹
宮本 宗典
松原 圭司 阪和興業（株）
葉山 繁一
田中 浩一
尾越 明弘 太平鋼材工業（株）
安田 秀治 新津田鋼材（株）
上坂元章光

合格者16名

■Bグループ（工具鋼・軸受鋼）

中村 高志 佐々木鋼業（株）
今村 暢也 日立金属商事（株）
吉田 雄亮 ウメトク（株）

合格者3名

■Cグループ（ステンレス鋼・耐熱鋼）

西元 孝治 大同興業（株）
廣實 辰博（株）北陸ヨシナカ

合格者2名

名古屋支部

■Aグループ（構造用鋼・ばね鋼）

石浜 秀昭 愛鋼（株）
真野 友和
岸 謙次 浅井産業（株）
川瀬 規彰 川本鋼材（株）
久保田京多
我部由花子（株）交邦磨棒鋼センター
蓮尾 真治
櫻井真奈美
八木 史 大洋商事（株）
谷口 竜也 辰日屋興業（株）
木股 立夫（株）ハヤカワカンパニー
鶴見 正仁

東條 慶都 大同特殊鋼（株）
久澄 隆史
米沢 明浩

合格者15名

■Bグループ（工具鋼・軸受鋼）

仁志出佳孝 浅井産業（株）
増居 克典
杉野 晃治
中村 昌明 石原鋼鐵（株）
片山 徹 ウメトク（株）
金原 裕司
加古 岳士（株）三悦
吉川 幸治
小島 敦（株）竹内ハガネ商行
山室 義勝
深谷 秀幸 中島特殊鋼（株）
図師 佑一 中野ハガネ（株）
秋田 雅之 名古屋特殊鋼（株）
葉師寺政次 日立金属商事（株）
鈴木 雅司（株）藤巻本店
伊藤 憲史
前田 隆宏 前田鐵鋼（株）
福原 武彦
山口 雅春
工藤 充俊 日本高周波鋼業（株）

合格者20名

■Cグループ（ステンレス鋼・耐熱鋼）

吉川あかね 下村特殊精工（株）
日塔由紀子 東北特殊鋼（株）
村瀬 賢人

合格者3名

九州支部

■Aグループ（構造用鋼・ばね鋼）

徳平 隆弘 白鷺特殊鋼（株）
寺崎 和生
太田 康晴 大洋商事（株）
金 世永
安部 佑貴（株）九州メタルス

合格者5名

■Bグループ（工具鋼・軸受鋼）

生野 栄一 清水金属（株）
青木 量太
野村 弥生 大同特殊鋼（株）
三好 祥介 粟井鋼商事（株）
津崎 久生 ウッデホルム（株）

合格者5名

■Cグループ（ステンレス鋼・耐熱鋼）

藤木 洋子 大同特殊鋼（株）
稲垣たか子

合格者2名

平成16年度 特殊鋼販売技士2級 合格者名簿

東京支部

■Aグループ（構造用鋼・ばね鋼）

宇野 将英 野村鋼機（株）
小野 文彦
森田 光威 井上特殊鋼（株）
小林 広司 ダイニチ工業（株）
大江 康一 日産トレーディング（株）
大須賀昭仁 大同興業（株）
小林 久道（株）ハヤカワカンパニー
樋田 光雄 藤田商事（株）
阪本 崇 大同興業（株）
山根 康孝 三井物産（株）
細合 秀寛（株）平井
吉田 修
井坂 貴俊
富山 孝 J F E 商事（株）
前田 剛
斉藤 勇二 三菱製鋼（株）
小野寺 隆 J F E 商事線材販売（株）
北田 良一 伊藤忠丸紅特殊鋼（株）
山本 真久 新日本製鐵（株）
小田 益久
鎌田 陽子 大同特殊鋼（株）

合格者21名

■Bグループ（工具鋼・軸受鋼）

芳賀 浩一 青山特殊鋼（株）
西 顕宏 石原鋼鐵（株）
須賀 和貴
大野 栄伸
根本 直人 日本高周波鋼業（株）
先水 布美 山陽特殊製鋼（株）
太田 真二 伊藤忠丸紅特殊鋼（株）

合格者7名

■Cグループ（ステンレス鋼・耐熱鋼）

徳松希世恵 日本高周波鋼業（株）
江原 裕朗
岩崎 昇平 中川特殊鋼（株）
藤澤 竜二
大原 孝俊 浅井産業（株）

■平成16年度 特殊鋼販売技士3級合格者名簿

検定試験日：平成16年7月6日（火）13：00～15：00

支部名	受験者数	合格者数
東京	72	70
名古屋	73	72
北関東	16	15

100点取得者 7名

東京支部	金子謙二	ヤマト特殊鋼 (株)
東京支部	清水一義	松菱金属工業 (株)
名古屋支部	杉野和博	佐久間特殊鋼 (株)
名古屋支部	竹内 章	佐久間特殊鋼 (株)
名古屋支部	川上 清	大和興業 (株)
名古屋支部	前田 誠	名古屋特殊鋼 (株)
名古屋支部	勝野弘靖	日立金属 (株)

平成16年度 特殊鋼販売技士3級 合格者名簿

東京支部 3級合格者名簿

大場 保宜	東金属 (株)
小林 久道	(株) ハヤカワカンパニー
西 顕宏	石原鋼鉄 (株)
大野 栄伸	〃
須賀 和貴	〃
池上 光博	エスマタル (株)
大江 康一	日産トレーディング (株)
河野 和夫	王子製鉄 (株)
細合 秀寛	(株) 平井
吉田 修	〃
藤原 和幸	橋永金属 (株)
平井 淳一	〃
伏原 良明	〃
岸野 武	〃
加藤 忠嗣	〃
山根 康孝	三井物産 (株)
根本 直人	日本高周波鋼業 (株)
江原 裕朗	〃
徳松希世恵	〃
関 正浩	〃
小林 広司	ダイニチ工業 (株)
加藤 義之	理研製鋼 (株)
太田 博和	ウッドホルム (株)
小野 文彦	野村鋼機 (株)
宇野 将英	〃
先水 布美	山陽特殊製鋼 (株)
樋田 光雄	藤田商事 (株)
金子 謙二	ヤマト特殊鋼 (株)
川口 茂	〃
長野 順	〃
井坂 貴俊	(株) 平井
藤沢 竜二	中川特殊鋼 (株)
岩崎 昇平	〃
秋山 裕樹	〃
森 充広	秋山精鋼 (株)
大原 孝俊	浅井産業 (株)
近藤 崇史	(株) U E X
番場 義信	〃
仲 隆文	〃
清水 一義	松菱金属工業 (株)
廣田 知丈	日本金属 (株)
新藤 学	〃
堀切 崇史	秋山精鋼 (株)
鬼頭 弘	青山特殊鋼 (株)
齊藤 勇二	三菱製鋼 (株)
吉田 仁	〃
川口 修司	〃
荒田 勝利	〃
井上 与志男	第一熱処理工業 (株)
鎌田 陽子	大同特殊鋼 (株)
森田 貴志	井上特殊鋼 (株)
對木 雄也	大同興業 (株)
阪本 崇	〃
鳥海 敬太	〃
大須賀昭仁	〃

湯山 吾紀	(株) スターインフォテック
芳賀 浩一	青山特殊鋼 (株)
小野 寺隆	川商線材販売 (株)
小野 亜矢子	インターナショナルアロイ (株)
青山 譲治	〃
富山 孝	川鉄商事 (株)
前田 剛	〃
山本 真久	新日本製鐵 (株)
小田 益久	〃
河原 收	佐藤商事 (株)
平島 薫	大同特殊鋼 (株)
北田 良一	伊藤忠丸紅特殊鋼 (株)
堀居 哲郎	大同興業 (株)
太田 真二	伊藤忠丸紅特殊鋼 (株)
李 聖泰	大同興業 (株)

名古屋支部 3級合格者名簿

加藤 隆	愛鋼 (株)
小林 周貴	〃
杉本 利幸	〃
増居 克典	浅井産業 (株)
仁志出佳孝	〃
杉野 晃浩	〃
岸 謙次	〃
中村 昌明	石原鋼鉄 (株)
小森 貴夫	(株) U E X
池田 龍一	ウメトク (株)
三浦 徹	〃
青木 祐介	〃
須釜 恒紀	(株) 岡谷特殊鋼センター
竹川 幸司	川北特殊鋼 (株)
久保田京多	川北鋼材 (株)
鳥濱淳一郎	〃
土田 愛	〃
村瀬 貴之	〃
我部由花子	(株) 交邦磨棒鋼センター
櫻井真奈美	〃
蓮尾 真治	〃
重安 幸祐	佐久間特殊鋼 (株)
杉野 和博	〃
西野 敏之	サハン特殊鋼 (株)
伊藤 涉	〃
仲井 勉	〃
中村 洋二	〃
立松 正一	(株) 三悦
吉川あかね	下村特殊精工 (株)
土井 直樹	スチールテックデグチ (株)
川上 清	大和興業 (株)
黒柳 潤	タカギスチール (株)
宇津野宗男	中島特殊鋼 (株)
前田 誠	名古屋特殊鋼 (株)
小川原幹雄	〃
森 茂洋	〃
中室 卓也	〃

中西 央人	〃
太田 正成	日栄鋼材 (株)
木股 立夫	(株) ハヤカワカンパニー
鶴見 正二	〃
加藤晋一郎	(株) 藤巻本店
川合 正人	〃
鈴木 雅詞	〃
岡本 有司	〃
池田 幸司	〃
前田 隆弘	前田鐵鋼 (株)
山口 雅春	〃
福原 武彦	〃
忠地 亮	松岡特殊鋼 (株)
深津 俊大	〃
斉藤 康博	愛知製鋼 (株)
西川 智雄	〃
國立 英之	小木曾工業 (株)
張 根柱	大同興業 (株)
東條 慶都	大同特殊鋼 (株)
基 和徳	〃
久澄 隆史	〃
泉 由希子	〃
鈴木 讓	〃
井元 映治	〃
竹内 忍	〃
古橋 実	〃
山口 毅	〃
西岡 里師	〃
日塔由紀子	東北特殊鋼 (株)
村瀬 賢人	〃
山田 泰輔	日本金属 (株)
相佐 昌司	日立金属 (株)
勝野 弘靖	〃
波多野憲二	(株) シルド
竹内 章	佐久間特殊鋼 (株)

北関東支部 3級合格者名簿

伊澤 秀和	井上特殊鋼 (株)
山中 長男	小山鋼材 (株)
富田 敦	〃
神田 利之	萩原物産 (株)
宮下 芳典	〃
小此木謙一	〃
小林 大介	〃
鈴木 泰一	(株) カムス
神山 敏雄	〃
戸叶 智明	(株) 鐵鋼社
澁谷 健一	住商特殊鋼 (株)
石井 竜義	〃
秋池 良之	(株) 長谷川ハガネ店
滝沢 英明	〃
高橋 秀幸	伊藤忠丸紅特殊鋼 (株)

平成16年11月18日現在

■特殊鋼販売技士支部別有資格認定者

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
1級	753	642	324	33	22	48		1	1,823
2級	1,270	1,157	711	56	56	80	66	40	3,436
3級	2,011	1,295	1,190	103	107	164	86	183	5,139
合計	4,034	3,094	2,225	192	185	292	152	224	10,398

昭和51年（1976年）よりの累計数

■特殊鋼販売加工技士支部別有資格認定者

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
実務編	135	100	68						303
基礎編	498	483	343	100	22	26	40	72	1,584
計	633	583	411	100	22	26	40	72	1,887

平成6年（1994年）よりの累計数

■特殊鋼販売技士・販売加工技士支部別有資格認定者累計表

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	合計
合計	4,667	3,677	2,636	292	207	318	192	296	12,285

新・支部長訪問

名古屋支部 田島徹也 支部長
〔(株) テクノタジマ・代表取締役〕

業界で働く人のレベルアップに つながる活動を推進



■大きなフォローの風が吹くなか、 業界活動も活気づけたい

この10年間ほど、われわれ特殊鋼業界は需要低迷、過当競争、価格破壊など、たいへん苦しい環境に身を置いてきましたが、中国の躍進をはじめとする世界経済の回復基調により、流れはいくぶんか上昇に転じている昨今です。無論、中国特需の先に起こり得るバブルの反動や、原料高騰の今後の推移やテロ・戦争といった治安問題とともに、世界経済の動向は先行き予断を許さないのも事実です。

しかし、われわれ業界はこの10年ほど“もがき”“苦しんで”きた間に、より一層の機械化や物流・在庫の見直し、そして海外展開に目を向けるなど、さまざまな形で経営合理化と製品および企業体への高付加価値化を図ってきました。このような、血のにじむような努力を重ねながら企業および業界の価値を高めていたところに、外部的要因ではありますが、今、大きなフォローの風が吹いています。このようななかで支部運営を任されたわけですが、全特協の会員企業のみなさんの顔色が良くなってきたことが、私自身の大きな励みになっており、みなさんと一緒に明るく元気に業界活動と会社経営に当たりたいと考えております。

■業界で働く人が夢と希望をもてるように

さしあたっての活動としては、この業界で働く人のレベルアップに少しでも寄与できる行事ができればと思います。9月には賛助会員との交流会を行いました。特に、これまでの会社の経営陣のみで行われる行事ではなく、各企業の中堅社員

をも含めた“開かれた協会（支部）活動”を展開することで、会員企業の全社的に協会メリットを感じてもらい、人材の底上げを図っていきたくと考えています。今後も、メーカーとの技術交流会や懇談会など、協会支部として業界横断的なコミュニケーションと勉強の場を設けていきたくと考えています。

先にも申しましたとおり、今、業界の人々の顔色がいいときだからこそ、メーカーさんからもユーザーさんからも存在価値のある業界を目指し、会員企業は、より一層一致して努力していく必要があります。そして、そのためのお手伝いをしていくのが全特協だと考えていますので、企業の規模にとらわれず、この業界で働く人が夢と希望のもてるような場の提供や、さまざまな啓蒙活動が必要だと考えております。もちろん、そうした活動とコミュニケーションのなかから、適正利潤の確保につながるような意見・情報交換や共同化メリットを得ることも可能になると期待します。いずれにしても、運営委員会を中心に成果の出る行事を推進していきたいと考えておりますので、会員企業のみなさんの積極的な参加をお願い申し上げます。

■好調な街・名古屋から 元気を発信したい

おかげさまで、元気といわれて久しい名古屋

屋経済界ですが、好調なトヨタ自動車を筆頭に、来年2月には中部国際空港が開港され、翌3月には愛知万博が開幕するなど、明るい話題で持ちきりです。

写真（右下）のミニチュアカーは、水の電気分解で水素を発生し、燃料電池で走る「E-FCV」という水電解燃料電池車です。大同メタル工業製で愛知万博のライセンス商品でもあります。超コンパクトな燃料電池を実装し、水を入れればミニカーが走りだすんですよ。来年の万博では、こんな新技術が象徴的に取り上げられるなど、“ものづくり”の街として、産業都市・名古屋が全国的に注目を集めているようです。われわれ名古屋支部も、全国の会員企業に元気を与えられるよう実りある活動を続けていきたいと思っています。



田島支部長とミニカー

—— 東北支部 小林春信 支部長 ——
[テー・ビー・ケー (株) ・取締役会長]

地域の現状を見極め、
より良い関係づくりのため活動をしたい



■広域の、独特の会員構成ならではの苦勞

東北支部事務局があるテー・ビー・ケー (株) は、仙台市より南に18kmの岩沼市にある。岩沼は雄大な流れを集める東北の大河・阿武隈川の河口近くに開けた街で、仙台空港そばの岩沼臨空工業団地内にあるテー・ビー・ケーは、美しい白砂の浜が続く仙台湾・玉浦海岸にもほど近い。

そのテー・ビー・ケーの取締役会長・小林春信氏が、この6月の支部総会で新しい東北支部長に就任。一期二年の予定で東北支部の舵取りを担当される。支部長就任後、半年を経たところでの支部の現況、および今後の抱負などをお聞かせいただいた。

「ご存知のように東北支部は、非常に広範囲にわたる支部のうえに、会員社数28社のうち出先機関、いわゆる中央からの支社・営業所単位の会員参加が多くを占め、地元企業は7社でしかありません」と小林支部長は東北支部のおかれた現状を語る。

「少ない地元企業のメンバーだけでは、到底支部運営はまかないきれず、出先機関の方々のご協力で東北支部は成り立っているわけですが、地元のオーナー企業と出先機関とでは、企業の性格を異にしますから、行事等の運営も調整に非常に気を使います」と小林支部長。つまり、海外研修等の視察・研修事業や、メーカーや賛助会員との懇談会等の親睦等には、出先の方々はなかなか参加しにくく、なんとか、財務講習会等の勉強会を企画・運営することで支部事業としてのまとまりを取るようになっているという。

「ひとことで言えば、地元企業はオーナーを中心に情報交換や懇談につながる事業をやりたい。出先機関の方々は、勉強をやりたい。そこでの微妙な違いをうまくまとめるのに苦勞します」と小林支部長は語る。

■新しいコミュニケ構築のために考えること

「これまでも懸案となっているのが、未加入企業をどう取り込んでいくか…ということです」と小林支部長。会員数はこの数年間で漸減の傾向に。

「景気が上向き、値戻しの動きも進みつつあり、同業者の顔色がいいこのときに、少しでも加入社数を増やせるような動きにもっていけないかなと考えています」。そのためには、「来春くらいから、各社を訪問して回っているいろいろコミュニケーションを取っていかうかなと思案中です」と小林支部長。こうした、各社詣でをした支部長はおそらくはずで、「すでに息子に社長業を譲って、今では代表権の外れた会長職の私です。社業における負担はずいぶん軽くなっていますから、存分に地域の同業界のために働いてみようかと」と、笑う小林支部長だ。

■次の世代に魅力ある
業界として残せるよう

「やはり、狭い地域で同じ商売を行っている者同士のコミュニケーションは大事

です。ここ東北でも、この10年の間に、叩き合いともいえる価格競争があって皆さん大いに疲弊したのではないかと。正当な競争や、企業ごとに付加価値を高めての勝ち残りには大いに切磋琢磨しなければいけないが、共存共栄ということも念頭においた情報交換が東北という地域ではもっと必要ではないか」と小林支部長は言う。

「価格の適正化による収益向上は、同業者間でもっともっと図られなければいけないと思います。この好況もいつまで続くのか分かりませんが、苦しくなったときに、また来た道を繰り返すのでは次の世代にとって魅力ある業界は残せない」と小林支部長。「“親 (の世代) は何をやってきたんだ!” と若い人たちに言われたいよう、よりよい形でこの業界を引き継いであげたいものです」。それが、今後支部運営にあたる小林支部長の奥底にある想いのようなのである。



テー・ビー・ケー外観

突然おじゃま



東海鋼鉄 (株) 代表取締役／鴨山 明正

東海鋼鉄 (株) は、日立金属の高級特殊鋼「YSSヤスキハガネ」およびその二次製品を取り扱う一銘柄専門の販売店。本社・工場を神奈川県綾瀬市に有し神奈川県全域を営業エリアにするだけでなく、千葉、多摩の各営業所も機能させ、「営業即納体制」と「メーカーとの連携による技術フォロー」を大きな特色として展開している。夢は大きく「関東一のハガネ屋に」と語る鴨山社長を訪問して、現在の取り組みや今後の抱負をお聞きした。

特色ある営業体制、社内改革。そして協会活動に思うこと

■コミュニケーションからの、迅速な問題解決が特徴の営業体制

昭和38年の会社設立以来、日立金属の「YSSヤスキハガネ」を専門に取り扱い40年あまり。「まさに、ヤスキハガネに操をささげてきた会社です」と鴨山社長は笑う。創業者である先代の父君とともに、山陰奥出雲が出身の鴨山社長。「古代のタタラ製法以来、山陰から産する良質のハガネは私たち郷土の誇りです。その伝統を継承し、最新の技術で産み出された『YSSヤスキハガネ』の販売に従事するのは、郷土の誇りを世に広めることなんです」と語る。

現在、神奈川県県央部から製品を出荷するほか、千葉、多摩にも営業展開し、カーメーカーや弱電メーカーの関連会社をはじめとするユーザーと取引を行なっている。「素材に加工や熱処理といった付加価値をプラスすることで、価格の面だけではないリードを勝ち取らなければいけない」という鴨山社長だが、東海鋼鉄の営業スタイルでユニークなのが営業&デリバリー一貫の、「営業即納体制」があげられるのではないかと。これは、営業職が注文を取りながら自らトラックを運転し、デリバリーもこなすというもので、現在、綾瀬の本社では2トン車9台がフル稼働中だ。「私は、運送屋さんは頼むべきではないと思っているんです」と鴨山社長。営業とデリバリーを一体化させることで、納入先でのお客様の声をキメ細かく素早く拾いあげることができる。もちろん、受注等ありがたい話ばかりではなく、製品に関する疑問やクレーム等、耳の痛い話も多々ある。「しかし、デリバリー専門だったらこうはいきません」「大切なのは、水をも漏らさぬお客様とのコミュニケーション、問題を素早く汲み上げ、迅速に解決すること

が、真のスピードアップ・サービスです」と鴨山社長は力を込める。

そのため、「各営業職には勉強が欠かせません。毎月1回は、メーカーさんとの勉強会を開催し、素材や製品に関する知識を研ぎ澄ますようにしています。現場での適切な問題解決、現場提案型の営業を目指していきたい」とのことだ。

■ユニークな、メーカー同行による顧客サービス

この、「営業即納体制」とともにユニークな取り組みが、メーカーとの連携による顧客への技術フォローだ。東海鋼鉄では、日立金属のスタッフを同行した技術サービスを各顧客に対して定期的に行なっている。

「メーカー技術陣がエンドユーザーに直接フォローサービスするのは、極めて珍しいのではないのでしょうか」と鴨山社長。「材料のこと、熱処理のこと、そして新鋼種のことなど、製品を使っての疑問点や専門的で分かりにくいことが、メーカー技術陣との直接対話で解決できるのは、お客様から非常に好評です」。メーカーからエンドユーザーまで直になく。そんな顧客サービスも東海鋼鉄の大きな特色だ。

■認証取得を契機に社員の意識を社内のすみずみに

社内的には現在、品質管理方針の国際基準であるISO9001の認証取得に向けて全力をあげて取り組んでいる。「ISO認証はひとつのステータスではありますが、これが売り上げへ直接つながるわけではない」と前置きしつつ、「社内の各部署を見直し、点検し、自分たちの会社をすばらしいものに改善していくことを意識しながら取り組んでいくことに価値があると思います」。漫然と

日々の業務をこなしながら売り上げだけを追っていくのではつまらない。「社内のみならず、自分たちの会社が“こんなにも誇らしいもの”であることを実感してもらいたい」と鴨山社長は言う。ISO認証を契機に、社員の意識がすみずみにまで行き渡れば目的のひとつは果たせるのではないかと鴨山社長は考える。

全特協と会員企業の関わりについては、「もう少し各社社員レベルまで広げた活動があってもいいのかな…、と最近思っています」と鴨山社長。そんな風に思ったきっかけが、はがねの日のTシャツデザイン応募の件。「ああした公募に関しても、普段なかなか協会活動と関わりのない一般社員の興味や反応が良かった」と言う。もっとも、従来から行なわれている「図面の読み方」等の講習会は参加者にも非常に好評で、協会活動の恩恵は少なからず社員レベルまで行き渡っていると感じるそうであるが、「何か機会を見つけて、楽しく気軽に参加できる企画がもっとあってもいいのかも知れない」と鴨山社長は語ってくれた。



東海鋼鉄本社外観

私の愉しみ

岡安鋼材(株) 代表取締役社長／岡安一男



その輝きに魅せられて。 日本のカスタムナイフ界を牽引する。

■ナイフマニアに御用達のナイフショップ

東京は台東区東上野。春日通り沿いの繁華な商店街に岡安鋼材はある。大正5年創業、先々代の西蔵氏の頃は特殊鋼を背負って信州の野鍛冶まで売りに歩いたという、東京の特殊鋼卸しとしては老舗となる会社だ。現在では工具鋼を主体に取り扱い、石ノミやタガネといった石材工具の製造・販売でも知られる。

その、岡安鋼材の本社ビルで目を引くのが、2階に設けられたナイフショップだ。内外のカスタムナイフの良品や掘り出し物を探すならまずはここ…、というほど東京のナイフマニアの間では高名な店で、ところ狭しと陳列されたショーケース内には、国内・国外のナイフビルダーによって一本一本丁寧に手作りされたカスタムナイフが並ぶ。カスタムナイフとひと口にいても、その種類はさまざま。大型獣の骨をも絶つことのできるハンティングナイフから、ハンドル部に蒔絵などの意匠が施された瀟洒なナイフはデスクに置けばクラフトワークにも使えそう。また、ポケットに一本忍ばせておけば、何かと重宝しそうな多徳ナイフもある。

「ナイフという、物騒で特別な道具というふうに感じるかもしれませんが、しかし、時と所を選んだナイフを持って正しく使えば、限りなく便利な道具です」というのは社長の岡安一男氏だ。

「石器時代から石のナイフが存在し、なかには石器時代のままのデザインで今日も使われているナイフがある。ナイフは人類が最初に考えた最初の道具でありながら最も普遍的なもののひとつです」とゆったりとした紳士的な雰囲気を出しながらナイフの魅力語ってくれる。日本のカスタムナイフ界の草分け的なメンバーでもある岡安社長の語るナイフの魅力とは…。

■日本のカスタムナイフ界の草分け的名士として活躍

岡安社長がナイフとの邂逅を果たしたの

は少年の頃のボーイスカウトがきっかけだ。9歳の頃から野外での多くの活動を楽しんだが、14歳の時にボーイスカウトの国際的な集いで、アメリカ、カナダ、イギリスといった海外のスカウト達が持つ本格的なナイフに魅了された。

「当時、私は型抜き製の国産ナイフを使っていましたが、彼らはドイツのゾーリングン製やアメリカのレミントン製など、鍛造や削り出しのすばらしいものを持参していたんです」。カルチャーショックを受けた岡安社長は、早速アメ横でゾーリングンのナイフを手に入れた。

「たしか、当時の値段で1500円。精一杯の贅沢品で飛び上がるほど嬉しかった」のを今でも覚えているという。

スカウト達の腰間にキラリと光るナイフの輝きに魅了されたのがきっかけとはいえ、代々安来ハガネを商う家業であることも相まって、大学を卒業した頃からナイフ熱はますます高じていく。そんな岡安社長の大きな転機となったのが78年のアメリカでのナイフショーへの参加だ。当時すでに、「ナイフ友の会」という有志で集っていた岡安社長だが、カンサスシティで開催された国際的なナイフ見本市に、鍛冶屋やケース職人、刃物屋といった仲間と参加。その内容の濃さと海外のナイフ文化の奥深さに圧倒されて帰国、アメリカのナイフビルダーの第一人者であるR.W.ラプレス氏の助言を得ながら、80年に日本で最初のナイフメーカー、ナイフショップ、ナイフコレクターなどで構成される同好会、ジャパンナイフギルド(JKG)を創設する。そのスターティングメンバーとして、以降も日本のカスタムナイフ界を代表する名士としてカスタムナイフの認知や普及に携わってきた。

■『切り拓く』ことの象徴として

ナイフディーラーとしてもナイフコレクターとしてもカスタムナイフに関わってきた岡安社長だが、特殊鋼商社を営むだけあつ

て単なるナイフ愛好家にとどまらない事実もある。現在、ナイフのブレード材として代表的な鋼材である「ATS34」も岡安社長とラプレス氏とで提案しながら日立金属に開発してもらったものだ。そして、そのATS34を世界に紹介し、販売したのも岡安社長である。

「ナイフの魅力とは、まずはその『輝き』や『強さ・逞しさ』、そして『男らしさ』でしょう」と岡安社長。

「しかし、そうした子供心のときめきを出発点とすれば、その後大人として成熟していくうちにさまざまな魅力を感じるはずですよ」という。キャンプ、登山、釣りといったアウトドアでの実用性はいうまでもないが、「小さなナイフをポケットに忍ばせておけば、爪の掃除やちょっとしたもののカットに役立つはず」。また、医師がテーブル上で錠剤などをカットして処方する時に使用したという“ドクターナイフ”というブレードの長い薄刃の華奢なナイフがある。「これなどは、オフィスのデスクにあっても威圧感がなくペーパーナイフ等さまざまな作業に使えるのでは」という。

鋭利な利器としてだけでなく、まさに大人だからこそさまざまな楽しめる要素を持つナイフの魅力。

「コレクションとしても実用としても多くの人にさまざまな楽しみ方をして欲しいと願っています」。もっとも、「いろんな魅力を内包した上で、生きてくことの『切り拓く力』の象徴としてナイフを愛してやまないんですよ」と優しい眼差しで岡安社長は締めくくってくれた。



ショールーム全景

理事会・委員会報告

第22回理事会

日 時：11/8 15：00～16：00 於：鉄鋼会館
内 容：1. 会員の入退会について
2. 平成16年度上期事業報告・収支決算について
3. 委員会報告

第33回運営委員会

日 時：8/5 15：00～17：00 於：鉄鋼会館
内 容：1. 久木田一成氏を委員長に選出（出席者全員一致）
2. 平成16年度委員会事業について

第34回運営委員会

日 時：11/8 12：30～15：00 於：鉄鋼会館
内 容：1. 平成16年度上期事業報告・収支決算について
2. 会員の入退会について
3. 各支部・各委員会の報告
4. 経済産業省鉄鋼課との連絡会（支部報告等）
槽谷敏秀課長・藪内雅幸課長補佐
村田博顕課長補佐・佐野徹流通係長

第25回総務委員会

日 時：8/5 12：30～14：00 於：鉄鋼会館
内 容：1. 藤田忠義氏を委員長に選出（出席者全員一致）
2. 平成16年度委員会事業報告・収支決算について

第26回総務委員会

日 時：11/2 15：00～17：00 於：鉄鋼会館
内 容：1. 平成16年度上期事業報告・収支決算について
2. 会員の入退会について
3. 新潟県中越地震災害義援金の寄付について

第20回内外交流委員会

日 時：7/28 11：50～13：45 於：大阪・鉄鋼会館205号室
内 容：1. 樋口克彦氏を委員長に選出（出席者全員一致）
2. 平成16年度委員会事業について
3. 平成17年度委員会事業について
4. 支部活動について

中国特殊鋼流通事情視察研修 （内外交流委員会事業）

日 時：10/13～10/17 中国特殊鋼流通事情視察研修
内 容：東京・大阪・名古屋から総勢45名が、上海に集合し上海宝山鋼鉄を見学後、三井物産（上海）にて、中国鉄鋼事情のレクチャーを受けた。2日目には、ウメトク（上海）、Shanghai Eatonを訪問、3日目は早朝上海から天津に移動して、五鋼（天津）鋼鉄市場、三五（天津）及びTEDA工業団地を見学した。経済成長率9%の中国を目の当たりにして、インフラ整備のスピードと実行力等に参加者一同大きな衝撃を受けた。「百聞は一見にしかず」を体験した。

第18回人材育成委員会

日 時：7/22 14：00～16：00 於：鉄鋼会館
内 容：1. 熊谷多津旺氏を委員長に選出（出席者全員一致）
2. 平成16年度委員会事業について

第19回人材育成委員会

日 時：9/28 12：00～14：30 於：鉄鋼会館
内 容：1. 特殊鋼販売技士3級受講者へのアンケートについて
2. 特殊鋼販売技士1級資格取得者に対するフォローアップについて
3. 正会員会社の有資格者調査について

第20回人材育成委員会

日 時：11/18 15：00～17：00 於：鉄鋼会館
内 容：1. 特殊鋼販売技士2級受講者へのアンケート実施について
2. 正会員会社の在籍者に関する「特殊鋼販売技士」「特殊鋼販売加工技士」有資格者調査について
3. 特殊鋼販売技士1級研修講座開講について

特殊鋼販売技士検定試験委員会

日 時：7/22 12：00～13：45 於：鉄鋼会館
内 容：特殊鋼販売技士3級合否判定について
合格者：東京支部 70名
名古屋支部 72名
北関東支部 15名
合 計 157名 合格（161名受験）

日 時：9/28 15：00～17：00 於：鉄鋼会館
内 容：特殊鋼販売技士2級試験問題選定について

日 時：11/18 12：00～14：00 於：鉄鋼会館
内 容：特殊鋼販売技士2級試験合否判定について

第23回調査研究委員会

日 時：7/29 12：00～14：30 於：鉄鋼会館
内 容：1. 藤原久芳氏を委員長に選出（出席者全員一致）
2. 平成16年度委員会事業について
（将来ビジョン等に関するワーキンググループ活動等）

調査研究委員会

将来ビジョン等に関するワーキング・グループ
「構造用鋼部会」「工具鋼部会」結成打合せ会
日 時：9/1 12：00～14：00 於：鉄鋼会館
内 容：「構造用鋼部会」「工具鋼部会」の結成について

調査研究委員会

将来ビジョン等に関するワーキング・グループ 「工具鋼部会」(第1回)

日 時：10/1 13:00～17:00 於：大阪・鉄鋼会館
内 容：全体のスケジュール説明について

調査研究委員会

将来ビジョン等に関するワーキング・グループ 「構造用鋼部会」(第1回)

日 時：10/5 12:00～14:00
於：名古屋・名鉄ニューグランドホテル
内 容：全体のスケジュール説明について

第3回経営効率化委員会

日 時：8/23 12:00～14:30
於：名古屋・名鉄ニューグランドホテル 7階花の間
内 容：1. 佐久間貞介氏を委員長に選出(出席者全員一致)
2. 平成16年度委員会事業について
3. 切断原価に関する勉強会のアンケート結果について
4. 共通通い箱事業について
鉄板製通い箱については、材料の高騰と、入手難
等から当分の間、協会としての取り扱いを休止。
なお、鉄網製通い箱は従来どおり取り扱う。

第4回経営効率化委員会

日 時：10/26 16:00～18:00
於：名古屋・名鉄ニューグランドホテル 7階花の間
内 容：1. 法律無料相談窓口の設置について
2. 企業を取り巻くリスク(民事介入暴力等)への
対策を勉強する「講演会」の開催について
3. 「切断原価に関する勉強会」の開催について
4. 共通通い箱事業について

切断原価に関する勉強会 (経営効率化委員会)

日 時：東京支部 7/13 参加者：60名
大阪支部 7/15 参加者：56名
名古屋支部 7/16 参加者：45名
講 師：湯野沢理事(特殊鋼販売加工技術検定試験委員会委員長)

第5回広報委員会

日 時：8/19 12:00～14:30
於：鉄鋼会館 出席者：13名
内 容：1. 竹内誠二氏を委員長に選出(出席者全員一致)
2. 平成16年度委員会事業について
3. 「はがねの日」事業について
4. 広報誌「すていーる」25号発行について

第6回広報委員会

日 時：11/2 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内 容：1. 「はがねの日」事業について
2. 広報誌「すていーる」25号発行について

第8回青年部会正副部会長会議

日 時：7/23 14:30～16:30
於：大阪・ホテルシーガル天保山大阪
内 容：1. 第4回定時総会開催について
2. 青年部会規定の変更(案)について
3. 青樹会 講演会・交流会

第4回青年部会定時総会

日 時：9/3 13:45～20:00 於：大阪・ホテル日航大阪
内 容：13:45～15:00
大阪企業家ミュージアム・展示エリア見学
16:00～17:20
講演会 於：ホテル日航大阪4階 藤の間
演題：「松下幸之助に学ぶ」
講師：佐藤悌次郎氏
(PHP総合研究所 第一研究本部長)
17:30～18:20
定時総会 於：ホテル日航大阪4階 藤の間
1. 平成16年度事業計画書(案)承認の件
2. 平成16年度事業予算書(案)承認の件
3. 青年部会規定の変更(案)承認の件
4. 青年部会運営委員、顧問及び特別顧問承認の件
18:30～20:00
ビジネスサミット 於：ホテル日航大阪4階 蘭の間

第9回青年部会正副部会長会議

日 時：11/19 16:00～17:30 於：鉄鋼会館
内 容：1. 特殊鋼文化の普及事業について
2. 共同化メリットについて
3. 正副部会長及び運営委員会のスケジュール策定と
役割分担について
4. 来期定時総会について

●支部賀詞交換会開催予定●

東京支部 平成17年1月27日(木) 於：グランドヒル市ヶ谷
大阪支部 平成17年1月 5日(水) 於：リーガロイヤルホテル
名古屋支部 平成17年1月 7日(金) 於：ヒルトン名古屋
東北支部 平成17年2月18日(金) 於：仙台国際ホテル
北関東支部 平成17年2月14日(月) 於：伊香保温泉
静岡支部 平成17年1月27日(木) 於：アゴラ静岡ユーフォニア
九州支部 平成17年1月 7日(金) 於：グランドハイツ福岡ホテル

事務局だより

1 当協会会員会社が受賞

- ◎東京支部会員：(株)UEX・小田保中社長が秋の叙勲で旭日小綬章を受賞されました。小田社長は東京ステンレス流通協会理事長の要職にあります。
- ◎大阪支部会員：扇鋼材(株)・斎賀社長が大阪府商工関係者表彰を受賞されました。斎賀社長は全特協の内外交流委員会委員で、大阪支部の内外交流部会長として全特協の活動にご尽力いただいております。

2 新潟県中越地震災害に対する義援金

新潟県中越地震災害に対して協会から50万円の義援金を日本赤十字本社に届けました。11月9日(火)三上会長と仕幸専務理事及び茂木総務部長が日本赤十字本社を訪れ日本赤十字社総務局五十嵐組織推進部長に50万円の義援金を渡しました。



3 JISハンドブック購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」の購入斡旋を本年度も実施致しますので、ご案内させていただきます。発送は2005年1月末の予定です。

1月末までにお申し込み頂きますと、送料(400円)が無料となります。本体価格は、協会特別斡旋価格として20%割引となっております。この特別価格は、日本規格協会の刊行物全てに適用されます。

申込書につきましては、12月の統計調査書のご送付の際にお送り致します。なお、本件は、昨年度まで東京支部の事務局で扱っていましたが、本年度から協会の広報委員会での扱いとなります。

お問合せは、事務局までお電話下さい。(Tel: 03-3669-5803)

4 鉄網製通い箱「おかよちゃん」新価格適用について(経営効率化委員会事業)

昨今の素材価格の高騰により、メーカーから全特協に対して約20%upの値上げ要請があり、全特協・経営効率化委員会でのメーカーとの価格交渉の結果、10月積み以降のとおりに新価格を決めました。一般市況価格よりは、安くなっております。

鉄網製(大) @7,900円(内寸 960×760×350)

鉄網製(中) @6,300円(内寸 760×465×400)

鉄網製(小) @3,800円(内寸 770×460×250)

5 切断原価の勉強会の開催について(経営効率化委員会事業)

7月に東京・大阪・名古屋の3支部で開催した「切断原価の勉強会」が好評でしたので、引き続き11月に九州支部、北関東支部でも勉強会を開催いたしました。東北支部では12月18日(土)、静岡支部では平成17年2月に開催予定です。講師は、全特協理事・特殊鋼販売加工技士検定試験委員会委員長である湯野沢栄勝先生にお願いしております。

平成17年度には、各支部毎に第2回目の勉強会を開催予定で、営業責任者、工場責任者を対象とした勉強会にする予定です。具体的な開催日が決まり次第、各支部会員にご連絡致します。

6 広報誌「すていーる」に「支部便り」のコーナーを新設(広報委員会事業)

地方支部会員各位から、全特協の他支部がどんな活動をしているか知りたいとの強いご希望がありましたので、平成17年度から「支部便り」のコーナーを新設致します。支部活動の中で、他支部の会員各位にもP.R.しておきたい事項がございましたら、事務局までご一報下さい。

(Tel: 03-3669-2777, Fax: 03-3669-0395)

編集後記

今年の夏は、6月から猛暑が始まり、7月、8月と続き、台風は10回も日本列島を北上し、各地でかつてない大洪水が発生し、10月には新潟県中越地区の大地震があり、その後年末に追われる年の瀬を迎えました。

特殊鋼業界は、中国特需等の影響を受け、各社共好業績が見込まれご同慶に存じます。

全特協では、来年度から、4月1日を「はがねの日」とし、「はがねの日」記念行事を計画しております。どんな行事になるか各支部でアイデアを検討中です。皆様方の御協力をお願いいたします。

皆様よいお年をお迎え下さい。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者/竹内 誠二